

コンパクトで持続可能な 低炭素都市 あまがさき



尼崎にはたくさんのエコスポットがあります。あなたはいくつ知っていますか？

このマップは、本市における環境の取組（平成22年度末時点）をイメージ図として表したものです。図中の、**A**～**G**は、下段の写真と対応しています。また、**①**～**⑮**については、次ページに解説があります。

- A クリーン・インダストリー**
太陽光発電・風力発電付の街灯を使うなど、グリーンな産業活動が行われています。
- B 武庫川コスモス園**
武庫川の「髭の渡し」では、多くのボランティアの努力により、コスモスが一面に広がり、秋の名所となっています。
- C 春の庄下川**
親水性と水生生物にも配慮した水辺空間の整備によって、市民が自然と足向ける憩いの場となっています。
- D 街路樹**
植樹帯のケヤキが大きく育ち、夏には涼しい木陰を作っています。
- E 工場のセットバック緑化**
周辺景観に配慮した沿道のセットバック緑化が行われています。
- F 自然と文化の森～猪名川自然林～**
旧猪名川の「河畔林」を市民の手で保全する活動や「水辺まつり」等の活動が、市民を中心に行われています。
- G 尼崎運河再生プロジェクト**
運河の魅力を再発見し、運河などを核とした魅力ある地域づくりを目指しています。

マップ内の主な環境の取組

No	キーワード	解説	本文
1	さほくがおか 佐 璞 丘	万葉の時代からの歴史ある「猪名」の地に残された貴重な自然資源の魅力を再発見し、地域の子もたちの環境・歴史教育の場、お年寄りや市民が憩える明るい森に再生するプロジェクトが地元住民を中心に始まりました。	P54
2	自転車道 (猪名川・藻川)	市の北東部を流れる猪名川と藻川に囲まれた中州をめぐる自転車歩行者専用道路(サイクリングロード)で、都会の中の自然を満喫できます。	P50
3	スマートグリッド	三菱電機株式会社(尼崎地区)で次世代電力ネットワークの実証実験が行われています。	P35
4	レンタサイクル	阪急園田駅と塚口駅では自転車の貸し出しを行っています。	P51
5	学校ビオトープ	自然を大切にすることを育むため、小学校において学校・地域の連携によりビオトープづくりを進めています。	P55
6	雨水利用	学校等の公共施設に、雨水利用施設を設置し、ためた雨水を散水等に利用しています。	P56
7	ルーム・ エコクラブ	尼崎市役所内にあるルーム・エコクラブは市民や子どもたちの環境学習や活動を支援し、環境に関する本の貸し出しや、環境学習会への講師派遣などを行っています。	P40
8	レジ袋削減協定	「低炭素社会」と「循環型社会」を目指して、市内の小売事業者と協定を締結しています。	P59
9	アイドリング ストップバス	市営バスは、全車両をアイドリングストップ機能を備えたノンステップバスに転換し、大気汚染や地球温暖化の原因になる自動車の排ガスを減らしています。	P52
10	えきバスびじょん。	バスの発車情報や周辺情報などが表示されるので、目的地へ一番早く発車するバスや、乗り場などを簡単にチェックできます。	P51
11	すき間緑化	工場や駐車場の「すき間」を利用し、誰でもどこでも簡単に楽しくできる「すき間緑化」を進めています。緑化だけでなく、ミツバチの巣箱を設置してハチミツを採るなどアイデアいっぱいの取組も進められています。	P55
12	ごみ発電	クリーンセンターでは、ごみの焼却により発生する余熱で発電を行っています。	P60
13	尼っこリンリン ロード	阪神尼崎駅と尼崎スポーツの森を結ぶ、歴史ある寺町や尼崎のものづくりを支える工場群、運河などあまがさきの魅力あふれる自転車コースです。	P50
14	尼崎 21 世紀の森 づくり	尼崎臨海地域(国道 43 号以南約 1,000 ヘクタール)において、人々の暮らしにゆとりと潤いをもたらす水と緑豊かな自然環境を創出し、森と水と人が共生する環境創造のまちをめざしています。	P54
15	大阪大学オンサイ ト研究センター	持続可能な社会の構築を目指す、大阪大学の研究拠点です。	P46

(平成 22 年度末時点の取組)

